

令和4年度和光市立下新倉小学校 第1回 学校運営協議会議事録

1 開催日時 令和4年7月28日(木) 15:00～17:00

2 場 所 和光市下新倉小学校 第一会議室

3 出席者 山崎 すみ子 柳下 澄江 村山 敦子 大久保 昭男
藤原 啓 高橋 郁美 鈴木 美恵

4 あいさつ

校長より：新メンバーの顔合わせと1学期の教育活動や今後の学校運営協議会についてご意見などをお伺いしたいので、よろしくお願いいたします。

5 自己紹介

6 協議内容

(1) 1学期の教育活動状況について

校長より：1学期に予定していた学校行事などが計画通りにできたことがよかった。教職員が工夫しながら取り組んだことがとても大きい。

- ・1学期計画したとおりの行事ができた。特に、修学旅行と林間学校ができたことがとてもよかった。
- ・現在の3年生以下は、入学以来マスクでの学校生活となっている。そのことによる弊害が出てくるかもしれないので、それらの課題解決に取り組んでいかなければならない。
- ・学校の教職員がコロナ禍で工夫しながら教育活動に取り組んでいることがわかった。地域に対してもっと発信して欲しい。
- ・コロナ禍なので、学校行事等を中止することは簡単だが、工夫して実施していくことが大事である。

(2) 重点項目の進捗状況について

① 体力向上について

体育主任を中心に様々仕掛けをしながら進めている。

② 研修の充実について

同じ研修テーマの学校4校と合同で研修に取り組んでいる。本校の職員を講師として他校へ派遣して研修会を行った。本校もレベルアップをしていかなければならない。

③ 家庭地域との連携について

学校応援団を再編成し、主幹教諭を中心に組み始めている。

和光市立図書館下新倉分館との連携をさらに充実拡大するため推進していく。

④ 充実した職場環境について

教職員が温かいところが本校らしさであり、教職員による愛情のある指導につながっている。
ストレスチェックの結果をもとに、よりよく改善していきたい。

⑤ 学級費の口座振替について

児童が現金を扱わないように、今年度2学期から体制を整えて実施していく。
市内の小学校にも啓発していきたい。

意見

- ・公会計は進めていくべきである。教員が現金を扱うことや児童が現金を持参することで発生する小さな事故が起こる可能性がある。それらを防ぎたい。

(3) 学校運営協議会について

①講義 大久保前教育長から

テーマ：「新しい学校づくりのための学校運営協議会制度の効果的な活用」

②意見交流

- ・学校運営協議会の回数を増やすことはできそうだが、分野ごとに話し合いを持ったほうが効率的かもしれない。
- ・学校の中に地域の力を借りていくのか共通理解することがとても大事である。
- ・学期ごとに進捗状況を確認、目標をどの程度達成しているか共通理解していかなければならない。
- ・どんなことに取り組んでいくか重点化して取り組んでいくのがよい。
- ・地域学校協働本部は中学校区で設置されており、この地域は坂下公民館にある。地域からは学校が何を求めているかわからない。
- ・学校と地域での育てたい子ども像についてすり合わせ合意形成することが必要である。
- ・年間教育計画に位置づけて活動していくことが大切である。